

犬山市生涯学習推進計画(案)についてのご意見の内容と市の考え方

計画名	犬山市生涯学習推進計画
募集期間	令和7年1月28日(火)から2月28日(金)まで
公開場所	市ホームページ、市役所本庁舎1階市民プラザ、3階文化推進課、各出張所(城東、羽黒、楽田、池野)、シンエイライブラリー(市立図書館)
意見数	1件

<b>いただいた意見・提案【1】</b>	
生涯学習推進計画に対し、大きな期待を持っています。P6第5節1に記載される、まちに関心を持つことの大切さ、市民各自が参画する住民主導のまちづくりの必要性に賛同します。案に記載される計画が滞りなく実施されるよう望みます。	
<b>市の考え方【1】</b>	
「社会教育のまち犬山」の実現を目指し、犬山市生涯学習推進計画を実施してまいります。	
<b>いただいた意見・提案【2】</b>	
P11:5 学習情報提供の継続 に関し、市役所や公共施設にチラシやリーフレットを置くことも必要かと思いますが、現在では人々はスマホから主に情報を得ています。SNSでの積極的な情報発信や、直感的で少ないクリックで欲しい情報にたどり着ける、なんでもPDFにしないなど、今よりも使いやすいウェブサイトの整備を望みます。	
<b>市の考え方【2】</b>	
チラシやリーフレットなどを用いた情報発信の整備に加え、利便性の高い市民サービスの提供や効果的・効率的な行政運営を行うために、全庁的にデジタルトランスフォーメーションの推進に取り組んでいますので、ウェブサイトの整備など市政の効率化と市民サービスの拡充を図ってまいります。	
<b>いただいた意見・提案【3】</b>	
P13:2 に関し、現状ではスポーツ施設における教室が非常に少ないと感じます。人口の違いもあり一概に比較できませんが、以前居住していた市や周辺の他市では、曜日ごとの都度参加レッスン、10回程度の定期教室などが豊富にあり、施設もにぎわっていただけましたので、現在そうした運動イベントに参加できず運動の機会が減り大変残念に思っています。また、案に記載されるように、気軽に誰でも楽しめるニュースポーツ、パラスポーツや、広い意味でのスポーツの推進にも期待します。具体的には、私自身五十肩でテニスをあきらめたので、ピククルボールやバウンドテニスの教室があれば嬉しいです。	
<b>市の考え方【3】</b>	
大人向けの運動教室については、市体育館エナジーサポートで卓球スクールや産後ヨガ教室などを開講しているほか、ピククルボール体験会やウォーキング講座などの体験イベントを開催しています。 また、犬山市スポーツ協会が主催するバウンドテニスなどの教室や、スポーツ推進委員によるポッチャやモルックなどのニュースポーツ講習会も開催しています。 市民の皆様が気軽にスポーツに親しんでいただくことができるスポーツ環境のさらなる充実が必要であると考えていますので、ご意見を参考とさせていただき、スポーツを通じた魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。	

<p><b>いただいた意見・提案【4】</b></p>
<p>P17：図書館に関し、図書の利用の利便性を向上させていただきたいです。現在、借りた図書の延長を1回行った後は期限までにいったん返却し、翌日以降に改めて貸し出し手続きが必要です。以前居住していた市では、図書館に当該図書を持参すれば再度その場で新規の貸し出しが可能であり大変便利でした。予約が入っている、新着図書であるなどの場合は別ですが、そうでなければ他の利用者の利用を阻害するとは考えにくく、当日の再貸出しを可能にいただければ、借りる側としては大変ありがたいです。</p>
<p><b>市の考え方【4】</b></p>
<p>当館では、図書館資料をより多くの人の手に取っていただきたいという考えから、当日の再貸出しは行っておりません。ご理解・ご協力をお願い致します。</p>
<p><b>いただいた意見・提案【5】</b></p>
<p>P18：生涯学習拠点として、情報発信基地としての図書館という考え方に強く賛同します。現状では、市民の図書館利用は二分化しており、本を借りる習慣があれば利用し、読書習慣がない、または図書館で借りる習慣がない場合はまったく利用しない状態かと思います。それではせっかくの施設やリソースがじゅうぶん活用されません。インターネットやスマホの普及による社会の変化に高齢者がついていけず、ここ20年ほどは情報へのアクセシビリティや日常の利便性の公平性が大きく損なわれた期間でした。民間のスマホ教室などもありますが、お金を出してまで自発的に学ぼうとする高齢者は少数派だと思います。もはやインフラと言っているインターネット全般に関して、私の80代の両親も当初からあまり関心がなく早々に脱落してしまいました。今後はここ20年ほどの大きな変化ではないかもしれませんが、やはりデジタルを苦手とする層は存在しつづけるでしょう。多数の人々があたりまえに享受しているテクノロジーと隔絶した生活を余儀なくされる層をなくすため、図書館が大きな役割を果たす存在となることを願います。</p>
<p><b>市の考え方【5】</b></p>
<p>今後も生涯学習拠点・情報発信基地としての役割を果たしてまいります。</p>
<p><b>いただいた意見・提案【6】</b></p>
<p>P20：1つの市の図書館で完結するのではなく、近隣自治体や教育機関と連携してネットワーク化を進めることは大変よいと思います。私自身ライフワークがあり、これまで居住地域の図書館をよく利用してきましたが、蔵書の数や内容の偏向は自治体によって差があります。今後は大学図書館でもデジタル化が推進されることが想像されます。紙の本はもちろんですが、電子書籍へのアクセスも含め、より必要な本へのアクセスが簡便となることを強く期待します。</p>
<p><b>市の考え方【6】</b></p>
<p>今後も近隣とのネットワーク化や図書館のICT化に努めてまいります。</p>